

Br. Holdings Report



第23期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

証券コード：1726



極東興和株式会社
東海環状自動車道 御望山本線橋(PC上部工)工事
(岐阜県岐阜市)



株式会社 ビーアールホールディングス

株主の皆様へ

To Our Shareholders



代表取締役社長

藤田公康

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループ第23期上半期(2024年4月から2024年9月まで)を終了しましたので、その事業活動の概況をご報告させていただきます。

中期経営計画の策定

当社グループは、「インフラ整備を通じて社会に貢献し持続的に成長する企業グループ」を長期ビジョンに掲げています。「人」が最も重要な経営資源としてとらえており、挑戦を続ける「人財」が活躍できる企業に変革することが、長期ビジョンを実現に繋がると考えています。

この長期ビジョンに基づき、2030年に向けて2段階の中期経営計画を策定いたします。第一次では「持続的成長実現のための基盤整備」、第二次を「長期ビジョン実現に向けた新たな事業領域拡大への挑戦」と位置づけています。

当社グループの第23期中間連結会計期間の業績

当社グループの第23期中間連結会計期間の受注高は期首手持工事の設計変更増が大きく貢献し、前年同期比+33.5%の大幅増額となり、過去最高水準の25,329百万円となっています。また、大型工事の進捗が進んだことから、売上高については、前年同期比7.3%増の19,984百万円となり、2年連続の増収で、過去最高の売上高となっています。

営業利益は625百万円(前年同期比9.7%増)、経常利益は617百万円(前年同期比11.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は365百万円(前年同期比7.9%増)となり、2年連続での増益となっております。

また、剰余金の配当につきましては、中間配当は期初計画の通り1株当たり7.5円とさせていただき、期末配当(予定)は、1株当たり7.5円の年間配当金額は1株当たり15円とし、3年連続の増配を予定しています。

資本コストを意識した経営

当社は、今後の持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に向けて、新たな事業領域の拡大と組織力強化に向けた経営資源の適切な配分に取り組んでいます。

資本収益及び市場評価(株価)改善においては収益性、資本効率性、財務レバレッジを意識したROEの改善や自己株式取得、配当政策の見直し等による株主還元策を進めてまいります。

気候変動への取り組み

地球環境を巡る課題の中でも気候変動は、建設業界にとって最も重要な取り組むべき課題と認識しています。当社グループでは2050年のカーボンニュートラル実現を目指し、環境配慮型社会実現への貢献に向けて取り組んでいます。

当社グループは、TCFD(「気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」)に賛同し、情報を開示しております。2021年よりGHG排出量を算出しておりますが、現在、算定の再評価、分析、2050年カーボンニュートラルに向けた具体的なロードマップ作成等検討をさらに進めています。

人材戦略

建設業界全体で人手不足が深刻な問題となっています。2024年4月から施行された時間外労働上限規制への対応や、優秀な人材の採用活動、離職者対策等は、当社グループにおける最優先課題の一つとして捉えています。近年の大型化した難易度の高い工事に対応するためには、技術者の充実が不可欠であり、獲得・育成・定着の環境整備を行い、人材が活躍できる企業を目指します。

サステナビリティ経営の推進

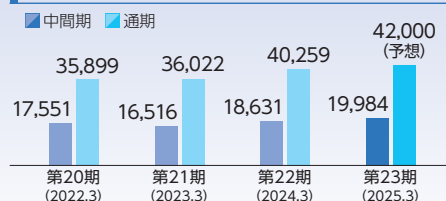
当社グループは、「世代を超えて、語り継がれてゆくものを。」[「人々が行き交い、人々に愛されるものづくり」]をコンセプトとして、人々が世代間の垣根を越えて、安心して暮らせる社会インフラ整備に貢献してきました。橋りょう新設や構造物の補修・補強などの建設事業を生業とする当社グループにとって「持続可能な社会の実現」は、事業活動の継続・拡大に必要な不可欠な課題であると認識しており、これからも積極的なサステナビリティ活動に取り組んでまいります。

今後も、株主の皆様のご期待にお応えできるよう環境対策や技術開発を積極的に推進してまいりますので、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

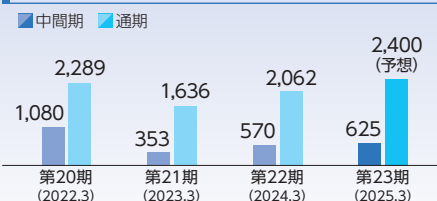
2024年11月

連結財務ハイライト

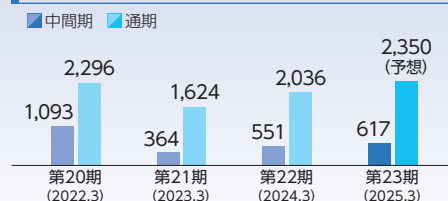
売上高 (百万円)



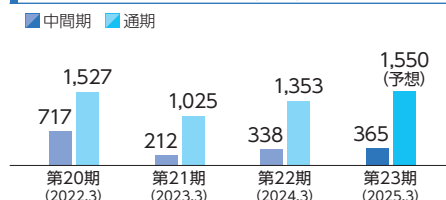
営業利益 (百万円)



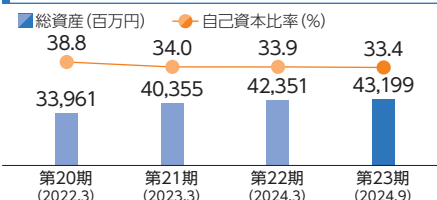
経常利益 (百万円)



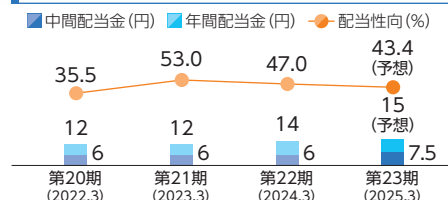
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (百万円)



総資産/自己資本比率



配当金/配当性向



Topics

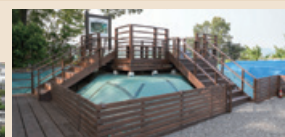
1

川の内線橋りょう上部工事(その2) (広島県広島市)

極東興和株式会社

広島市で甚大な被害が発生した「平成26年8月豪雨災害」において、広島市が策定した「豪雨災害復興まちづくりビジョン」で広域避難路に指定された市道川の内線の一部として工事を進めています。

現場には展望台やインフォメーションセンターを設置し、地元住民の皆様が工事の様子を見ることができるようになっています。災害発生から10年となる8月20日には広島市長が整備状況を視察されました。



現場事務所横に設置された展望台



Topics

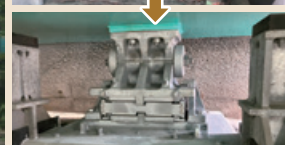
2

仙松維第9号 仙台松島道路 橋梁修繕(高城川新橋)工事 (宮城県仙台市)

東日本コンクリート株式会社

本工事は、三陸自動車道(仙台松島道路)の松島大郷I.C～松島北I.Cの間に架かる高城川新橋(鋼桁橋)の修繕工事です。

高城川新橋は、建設より約40年経過しており、橋りょう本体部や橋台との接合部の経年劣化による損傷が見られることから、これらを順次修繕し、機能回復を図りました。



Topics

3

東九州自動車道 香下大橋(PC上部工)工事 (大分県宇佐市)

極東興和株式会社

本工事は、東九州自動車道の4車線化事業の一つです。自動車道の4車線化を行うことで、速度低下の解消、事故防止、災害時の早期交通機能確保等が期待されています。

施工中は、地元の住民や地元工業高等専門学校の学生などへの現場見学会を6回開催した他、橋りょう本体の完成時には宇佐市長や地元区長にお越しいただき連結式が執り行われました。



Topics

4

道路施設長寿命化対策事業 (岡山県真庭郡)

極東興和株式会社

1968年に竣工された本橋梁(新庄大橋)は山間部に位置し、冬季に散布する凍結防止剤による塩害が進行しており、コンクリートが脆くなる現象が発生していました。

様々な補修工法のなかから、費用対効果に優れるリハビリカプセル工法(当社独自技術のK-LIP工法)が採用されました。



道路橋橋脚耐震補強事業 (山梨県大月市)

極東興和株式会社

本工事は、高速道路高架橋橋脚の耐震補強工事です。

狭隘な桁下空間での施工であり、かつ支持地盤が硬質であったことから、これらの施工条件を満たすことが可能で、当社が多数の施工実績を有するSTマイクロパイル工法が採用されました。



表紙写真
について

東海環状自動車道 御望山本線橋(PC上部工)工事 (岐阜県岐阜市)

東海環状自動車道は中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、環状道路内の渋滞緩和、沿線地域の地域産業・観光産業の支援、災害に強い道路機能の確保を目的としています。

名神高速道路、東海北陸自動車道の間に位置し、橋梁の終点側が岐阜I.Cの合流部となるため、幅員が大きく拡幅する橋梁を張出架設により施工しています。



会社概要

(2024年9月30日現在)

商 号	株式会社 ビーアールホールディングス Br.Holdings Corporation
設 立	2002年9月27日
本 社 所 在 地	広島市東区光町二丁目6番31号
電 話	082-261-2860(代表)
資 本 金	4,813,847,000円
決 算 期	3月31日
従 業 員 数	12名(連結645名)

代表者及び役員

(2024年9月30日現在)

代表取締役社長	藤 田 公 康
取締役	石 井 一 生
取締役	山 根 隆 志
取締役	天 津 武 史
取締役	末 竹 一 春
取締役・常勤監査等委員	山 縣 修
取締役・監査等委員(社外)	小 田 清 和
取締役・監査等委員(社外)	佐 上 芳 春
取締役・監査等委員(社外)	三 浦 房 紀

株式の状況

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	45,795,000株
株 主 数	46,976名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	5,097	11.34
トウショウアセットマネジメント株式会社	4,030	8.97
藤田公康	1,831	4.07
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,252	2.78
ビーアールグループ社員持株会	994	2.21
広成建設株式会社	988	2.19
ビーアールグループ取引先持株会広島支部	939	2.09
株式会社三菱UFJ銀行	800	1.78
ビーアールグループ取引先持株会大阪支部	692	1.54
トウショウ産業株式会社	690	1.53

(注)持株比率は自己株式(873千株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金 3月31日
受領株主確定日

中間配当金 9月30日
受領株主確定日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502

同 連 絡 先
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

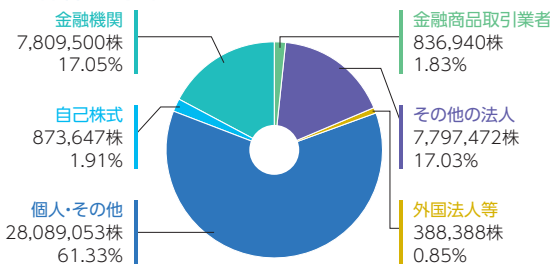
上場証券取引所 東京証券取引所(プライム市場)

電子公告により行う。
当社ホームページ(<https://www.brhd.co.jp/ja/ir/announce.html>)にて掲載。
(ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

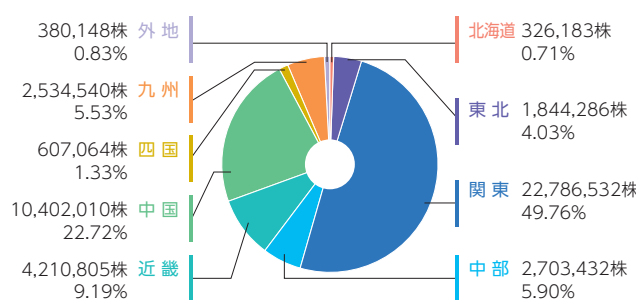
株式分布状況

(2024年9月30日現在)

[所有者別株式分布状況]



[地域別株式分布状況]



》グループの概況 (2024年9月30日現在)

極東興和株式会社

本社所在地/広島市

事業内容/PC構造物の設計・施工
PC及びRC製品の設計・製造・販売等
コンクリート構造物の診断・補修・補強等

東日本コンクリート株式会社

本社所在地/仙台市

事業内容/PC構造物の設計・施工
PC及びRC製品の設計・製造・販売等
コンクリート構造物の診断・補修・補強等



株式会社
ビーアール
ホールディングス

キョクトウ高宮株式会社

本社所在地/広島市

事業内容/PC製品及びコンクリート二次製品の設計・製造・販売・施工等

ケイ・エヌ情報システム株式会社

本社所在地/広島市

事業内容/ソフトウェアの設計・開発及び販売等

豊工業株式会社

本社所在地/大分市

事業内容/PC及びコンクリート二次製品の製造・販売等



株式会社 ビーアールホールディングス

広島市東区光町二丁目6番31号 TEL 082-261-2860 FAX 082-261-2861

ホームページ <https://www.brhd.co.jp/> (IR情報を当社ホームページに掲載いたしておりますので、こちらからもご覧ください。)

